学校法人川副学園
博愛の里こども園

令和６年度
No.１７

令和６年　7月19日
文責：五反田　康子

博愛の里だより

元気いっぱい　やる気まんまん　笑顔にこにこ

本園の HP です。
カラー版で拡大してご覧ください。

今日は**１学期の終業式**でした。明日から夏休みに入り、園を離れ家庭で過ごす子も多くいます。**遊びは子供の主食です**。保育教諭たちはその**伴走者**として、**興味を引き出す環境**を作り、**常に目と気を配り**ながら**一緒に遊び込み**、**たくさんの言葉掛け**で**五感**を育ててきました。長い夏休み、ゲームに走ることなくお家でも**たくさん遊んで**ほしいと思います。また、抱っこは幼児期の子供にとって最も高い刺激です。心の健康の土台として、**声を掛ける**という聴覚刺激とともに**たくさん抱っこ**してあげてください。それは記憶に結び付けられていきます。是非たくさん触れ合っていただけたらと思います。長い幼児期、安心・安全な環境の下、自分なりの興味関心を基に思う存分遊ぶことで、生涯にわたる人格形成の基礎を育む期間。VUCA（変わりやすい、不確実、複雑、曖昧）な時代を迎えると言われているこれからだからこそ、保護者自身が周囲の環境や社会情勢に興味関心をもち、探求心をもって物事に関わって、子供にとって**魅力のある遊びの経験と学びを援助する役割**を意識してもらえればと思います。子育てこそ未来を作る最前線、「**子供と過ごす時間**」という投資をお願いいたします。オリンピックを一緒に見たり、絵本の読み聞かせを。

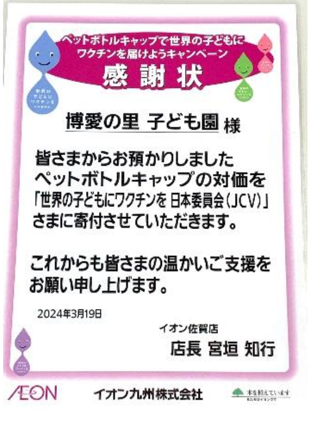
ちなみに、忍耐力や自制心、やり抜く力、好奇心などの**非認知能力を育てる**には、子供たちに以下のことを**随所で伝える**と良いそうですよ。

① 目標を設定することが重要なこと
② その目標を達成するためには、努力をすることが大切なこと
③ 失敗や挫折を建設的に考えるのが重要なこと
④ 人間の能力というのは決して生まれつきのものではなく、努力によって変えられること

床にこぼれた色水を見て、ティッシュを取りに行き拭いている HR さん。

活躍が期待されるオリンピック選手たちもそうなのかもしれません。他児と比較するのではなく、「**根拠のない自己有能感・肯定感・自信**」を感じさせてあげてください。経験や活動を子供がしたいことだけに委ねるのではなく、**その経験や活動が生まれるように**保護者が方向付け、その中で**主体性を育てて**いただければと思います。

■ 7日12日（金）に行った**Ｇタイムでの「夏まつり」**もまさにそうでした。（裏に写真を掲載しています。）**保育教諭たちは日々、上に記載した内容に全力で取り組んでいます。**


ペットボトルキャップで世界の子どもに
ワクチンを届けようキャンペーン
感謝状

博愛の里 子ども園 様

皆さまからお預かりしました
ペットボトルキャップの対価を
「世界の子どもにワクチンを 日本委員会（JCV）」
さまに寄付させていただきます。

これからも皆さまの温かいご支援を
お願い申し上げます。

2024年3月19日

イオン佐賀店
店長 宮垣 知行

AEON　イオン九州株式会社

■ 本園は月に１回「**エコ回収日**」を設けていて、**ペットボトルキャップ**を集めています。ある程度集まったらイオン佐賀店に届け、そこを通じて「世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄付しています。３日（水）、今年度から PTA **活動の一つ**となった**エコ係**のお母様に届けていただきました。ありがとうございました。また、これからもご協力よろしくお願いします。

← キャップを届けると、前回の分の「感謝状」を受け取れます。

「元気いっぱい、やる気まんまん、笑顔にこにこ」があふれていました！

手作り看板も味があります。全部Gタイムで作りました。

未満児さんたちも参加しました。お面を付けてもらっていました。

Gタイム、だーいすき！

↑ゲットした食べ物をクラスに持ち帰りいただいています。

ホールを飛び出し「わっしょい！わっしょい！」メンバーが入れ替わりながら何周も。

未満児エリアに入るとき、鍵を開けてくれた先生に対して「こんな時は「『ありがとう』だよ。」とささやいてもらうと、次からは自発的に大きな声で「ありがとうございます！」

これぞ「主体的」

給食に本物が出て大喜び。「今日は一日中お祭りだね～。」

収穫物の見せ合いっこ

「園長先生、綿菓子売り切れちゃった。」「今度は綿菓子をもっと多く作らなくちゃ。」

一人の子が遊び始めると、少しずつ増えていき、「ここは川だよ。落ちるとワニがいるよ。」「この下はマグマだよ。危ないよ。」「黄色と赤だけ行っていいことにするよ。」「最後の輪っかはコーンに輪投げでゴールだよ。」とどんどん遊びが広がっていきました。異年齢児間での関りで少しずつルールのレベルが上がっていったり、落ちてワニから食べられるリアクションも加わったりと、自分たちで遊びの深まりが見られました。また、楽しさの中にも列で待つときのルール等きちんと守られていました。(夏祭りごっこもGタイムの一環なので選択して遊んでいます。)